

リーディングDXスクール事業【実践事例】

札幌市立中央小学校（札幌市）

【取組内容⑤】「実践内容を動画・写真、研修のオンライン公開などにより地域内外に普及」（前期）

本校ホームページ上
[\(<http://www.chuo-e.sapporo-c.ed.jp>\)](http://www.chuo-e.sapporo-c.ed.jp)において随時実践内容を公開している。

また、北海道教育大学の学生や札幌市観光局・他市町村などの視察受入を通して、地域内外の普及促進の役割を担っている。



【北海道教育大学の皆さん】今年度もICTを活用した教育活動の様子の視察で、教員を志す8名の学生と3名の教授が来校しました。「デジタルとアナログの使い分けは?」「どう用いると効果的?」様々な視点で授業を分析していました。



【3年生】

本日、札幌市経済観光局観光・MICE推進部の方々が授業視察にご来校しました。先月発行された「札幌市観光副教材」をもとに、札幌市の観光プランを考えました。グループで観光テーマや行き先を話し合いました。そこで、Google mapを使って、観光ルートや交通手段を計画していきました。



8月17日開催

「リーディングDXスクール夏季学習会」@Sapporo
 札幌市内はもとより道外からも参加があり、総勢98名が参加した。

第一部では、ICTを活用した5本の実践について、本校と中央中学校の教諭7名が発表した。

基調講演に広島工業大学情報学部教授・宮城教育大学教育学部名誉教授の安藤明伸氏をお招きし、「情報活用能力とカリキュラムマネジメント」についてお話しいただいた。